

ワークショップ「国際ファイナンスワークショップ」  
(25周年記念特別大会)

開催責任者 経営学部 徳永 俊史  
2004年12月11日、12日  
名鉄グランドホテル  
南山大学名古屋キャンパス

ワークショップは南山ファイナンス・ワークショップ実行委員会との共催で、参加者 64名、以下のプログラムで開催された。

報告者および題目

- [1] 中川秀敏 (東京工業大学) Analyses of Mortgage-Backed Securities Based on Unobservable Prepayment Cost Processes
- [2] 関根順 (大阪大学) Explicit Solutions to Optimal Investment/Hedging Problems for Certain Nonlinear Stochastic Factor Models
- [3] Stanley Pliska (University of Illinois at Chicago) Optimal Mortgage Refinancing with Endogenous Mortgage Rates: An Intensity Based, Equilibrium Approach
- [4] Joe Chen (東京大学) The Market Structure of Nasdaq Dealer Markets and Quoting Conventions
- [5] Christine Parlour (Carnegie Mellon University) Information Acquisition in a Dynamic Limit Order Market
- [6] Yuri Kifer (Hebrew University)
- [7] Rama Cont (CNRS, Ecole Polytechnique) Jump Diffusion Models and their Calibrations
- [8] 石田功 (東京大学) How fast do financial market volatilities mean revert? An empirical study using the S&P 500 daily returns data.
- [9] 辻村元男 (京都大学) Stock Repurchase Policy with Transaction Costs under Jump Risks
- [10] 岩城秀樹 (京都大学) Optimal Life Insurance for a Household
- [11] 芝田隆志 (横浜国立大学) On the Value-Volatility Relationship in a Real Options

Model

[12] 尾崎祐介（大阪大学大学院）The Comparative Statics on Equilibrium Derivative

#### ◇ワークショップの討論内容

南山大学が日本におけるファイナンスに関する研究の重要な拠点であることが改めて認識されたものと思います。国内のトップで活躍されている研究者がほぼ全員集まり、海外からも世界的に有名な研究者や若手で注目されている研究者に報告していただきました。内容は、数理ファイナンスの応用を中心にマーケット・マイクロストラクチャーや計量モデルによる実証を含み、ある程度テーマを絞ったプログラムとなりました。言い換えますと、この分野では日本にも世界で通用する研究者が多くいるということであり、繰り返しますが、本ワークショップの開催で改めて南山大学が彼ら研究者を育ててきたことをアピールできたものと思います。今回は記念大会でしたが、今後もこのワークショップを継続して開催していくべきものと考えます。

#### ◇研究成果発表

海外の報告者は基本的に招待講演のため、今後研究成果として発表するかは未定。国内研究者は、改訂を加え、各分野の専門雑誌に投稿する予定。